

第Ⅱ章 改訂の考え方

- 第1節 後期基本計画の見直し方針
- 第2節 江南市をとりまく社会経済情勢
の変化
- 第3節 前期基本計画期間の成果と課題

第1節 後期基本計画の見直し方針

前期計画期間の成果と課題、江南市をとりまく社会経済情勢の変化を踏まえ、以下の3つの観点から、基本計画の見直しを図り、後期基本計画としてとりまとめました。

◆前期計画の成果と課題への対応

- ・ 後期基本計画では、市民満足度調査などにより確認した前期基本計画の成果の達成状況を踏まえ、これまでの取り組みをさらに成熟化させ、発展的な取り組みにつなげることが重要となります。
- ・ 一方、前期計画期間で達成できなかった事項や、未着手事項に確実に対応することが必要となります。
- ・ 後期基本計画では、前期計画期間での取り組みをステップアップしていくことに視点をおくとともに、残された課題を明らかにし、後期計画期間において計画的かつ確実に対応できるよう、計画内容の見直しを図りました。

◆新たな社会潮流の反映

- ・ 前期計画期間の間にも、江南市をとりまく環境は大きく変化しています。社会経済情勢などの外部の環境変化に伴い、人口減少社会への対応だけでなく、価値観の多様化、デジタル技術の発展、脱炭素社会の実現に向けた取り組みなど、新たに取り組むべき課題も出てきています。
- ・ 後期基本計画では、2015年の国連サミットにて採択されたSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）と整合を図り、総合計画の推進を通してSDGsの取り組みも一体的に推進できるよう見直しを図りました。
- ・ また、本計画が包含する地方版総合戦略においては、国の「デジタル田園都市国家構想」を受け、デジタルを活用した社会課題の解決や魅力向上といった視点を取り入れた計画として見直しを図りました。

◆市民協働によるまちづくりの推進

- ・ 「第6次江南市総合計画における目標達成状況把握のための市民満足度調査（令和5年7月～8月実施）」では、江南市のまちづくりの課題や、今後のあるべき方向性について、市民の考えをお聞きしています。また、市民会議では、市民と職員が一緒になって、今後のまちづくりに向けた議論や後期基本計画の策定を行ってきました。
- ・ 後期基本計画では、こういった市民ニーズや市民意見を十分に取り入れて、市民との対話を大切に、ともに考えながら計画内容の見直しを進めました。また、地域課題の解決に向け、ともにまちづくりを進めるために、SDGsなどを通じて、市民と行政がよりつながることのできる手法などについて、市民会議を通して意見交換を行い、計画内容の見直しを図りました。

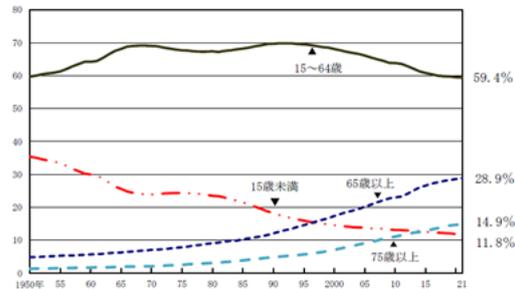
第2節 江南市をとりまく社会経済情勢の変化

1 人口減少・少子高齢化の進展

わが国の総人口は平成20年をピークに減少が続いており、少子高齢化も深刻さを増しています。令和2年の国勢調査では、約1億2,615万人となっており、年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15～64歳）が減少する一方、老年人口（65歳以上）は増加となりました。一方、令和5年にはこどもまんなか社会の実現に向けて、こども家庭庁が発足しました。

江南市の人口も平成27年の国勢調査から減少に転じており、令和2年の同調査では人口98,255人で、老年人口の割合は28.4%となっています。今後も人口減少、少子高齢化が続くことを前提とした持続可能な市政運営や、少子化対策への対応が求められています。

【日本の年齢区分別人口の割合の推移】



資料：総務省「報道資料 人口推計 2021年10月1日現在」

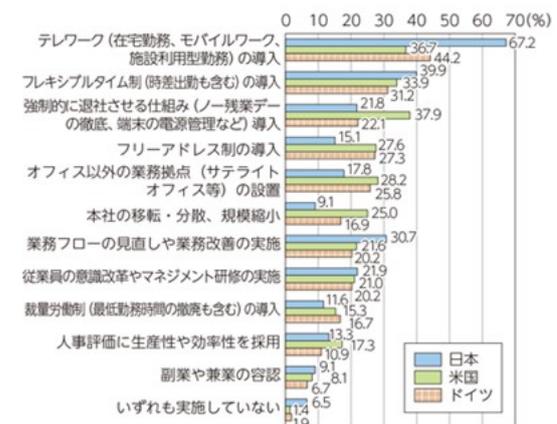
2 働き方や価値観の多様化

前期計画期間中には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、社会の働き方の多様化が急速に進みました。特にテレワークやオンライン会議の導入が著しく進むとともに、転職や副業を持つ人の増加や、女性の就労率も増加しました。

また、ライフスタイルや事実婚などの家族のあり方に関する考え方も変化してきており、LGBTQ^{*}などの性的指向に対する多様性への理解も進んできています。

働き方や価値観の多様化及び多様性への理解が進むことは、個人が自分らしく生活する上で、望ましい傾向です。他方で、それを支える体制や制度が十分に対応できていないという課題が顕在化してきているため、多様性を最大限尊重した制度などの見直し求められています。

【企業の働き方改革取組状況の国比較（令和2年度）】



資料：総務省「情報通信白書令和3年版」

3 安心・安全な生活へのニーズの高まり

わが国は世界でも有数の地震大国であり、また、近年はゲリラ豪雨などの異常気象も多発しています。さらに、今後発生が予想される南海トラフ地震^{*}も、市民の安心・安全な生活を脅かす大きな脅威となっています。

また、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、わが国においても多数の感染者や死者が確認され、感染対策が欠かせない社会生活を余儀なくされました。

今後も自然災害や異常気象、新たな感染症^{*}の発生など不測の事態においても、その影響を最小限に留め、いち早く日常生活を取り戻すためのレジリエンス^{*}の強化が求められています。

年月	令和元年以降の主な災害
R1.8	房総半島台風及び前線線等による大雨・暴風等
R1.10	東日本台風等による大雨・暴風等
R2.7	令和2年7月豪雨 (九州地方)
R3.2	福島県沖地震
R3.3	宮城県沖地震
R4.3	岩手県沖地震
R4.11	茨城県南部地震
R5.5	令和5年奥能登地震
R5.5	千葉県南部地震
R5.7	令和5年梅雨前線による大雨 (九州地方)
R6.1	令和6年能登半島地震

資料：気象庁資料より作成

4 デジタル技術の発展

デジタル技術の発展は目覚ましく、AIやIoT^{*}、ドローンなどを活用した新たな技術が開発されています。人々の生活もデジタル化が進み、スマートフォンやパソコンだけでなく、IoTを活用したデジタル家電なども広く普及してきています。

国は、令和3年にデジタル庁を発足し、翌年には「デジタル田園都市国家構想基本方針」を閣議決定して、デジタルの力を活用した社会課題の解決をめざしています。

今後もデジタル技術の発展が予想される中、行政運営にも適切にデジタル技術を取り入れ、市民サービスの向上をめざしていく必要があります。他方で、高齢者などデジタルツールを十分に利用できない方が生活面に不都合を感じることなく、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう支援を進めていく必要があります。



資料:「第1回 デジタル田園都市国家構想実現会議」

5 持続可能な開発目標（SDGs）実現に向けた取り組み

2015年（平成27年）の国連サミットにおいて、2030年に向けた国際社会全体の共通目標として、「SDGs（Sustainable Development Goals）：持続可能な開発目標」が採択されました。SDGsは17のゴールと169のターゲットから構成され、誰一人取り残さない世界の実現をめざすことを基本理念としています。

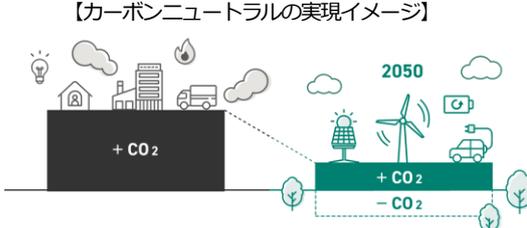


わが国においても、SDGs実現のため、国は平成28年に「SDGs推進本部」を設置するとともに、SDGs推進のための中期戦略である「SDGs推進方針」を策定しました。また、地方自治体にもSDGsの取り組みを促すため、優れた取り組みを行う団体を「SDGs未来都市」に選定して、優良事例の普及に努めています。

江南市においても持続可能なまちづくりを進めるため、SDGsの理念を尊重した経済・社会・環境の3側面の調和がとれた行政運営が求められています。

6 カーボンニュートラル^{*}実現の要請

気候変動が深刻さを増す中、2015年（平成27年）のパリ協定^{*}において、「産業革命以前に比べて世界的な平均気温上昇を2℃未満に抑えること」が世界共通の長期目標として合意されました。



資料:環境省 脱炭素ポータルより

パリ協定で合意された目標を達成するため、国は令和2年に2050年（令和32年）までに、温室効果ガス^{*}の排出量から植林、森林管理などによる吸収量を差し引いた合計をゼロにする「カーボンニュートラル」をめざすことを宣言し、江南市においても、令和5年に「江南市ゼロカーボンシティ宣言^{*}」を表明しています。

今後は、ごみの排出量削減や省エネルギーの推進などにより、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みが求められています。

第3節 前期基本計画期間の成果と課題

1 全分野の目標達成状況

第6次総合計画のすべての成果指標の平均目標達成率は91.5%となっています。また、達成率90%以上の指標は54.7%で、約半数の指標が目標を達成している状況といえます。

(※前期基本計画の成果指標のうち、後期基本計画でも継続使用している指標について分析)

《参考》第6次総合計画では、各柱の成果目標に次のとおり指標を設定し、成果目標の達成状況などを確認することとしています。

全体目標：市民と行政の協働によりめざす目標を、市民満足度による数値目標で表したものを。数値は市民満足度調査により測定します。

個別目標：行政の取り組みによりめざす目標を、統計などの具体的な数値目標で表したものを。数値は統計などにより測定します。

◆平均目標達成率から見る目標達成状況

各指標の達成率の平均値を算出した、全分野及び各分野の目標達成状況は下表のとおりです。

区分	〈全体+個別〉	〈全体目標〉	〈個別目標〉
全分野	91.5%	74.6%	95.9%
I まちづくり分野	94.0%	80.5%	98.1%
II ひとづくり分野	83.8%	84.4%	83.8%
III しごとづくり分野	81.1%	87.2%	76.3%
IV ちいきづくり分野	90.4%	72.8%	94.0%
V 行政分野	102.0%	57.5%	116.3%

※指標の達成率は、令和5年8月現在で、実績値の把握できるものを集計

◆指標の達成率別から見る目標達成状況

各指標を達成率別に整理した、全分野及び各分野の目標達成状況は下表のとおりです。

区分	指標数	達成率		
		90%以上 	70%以上 	70%未満 
全分野	181項目	99項目 (54.7%)	39項目 (21.5%)	43項目 (23.8%)
I まちづくり分野	43項目	29項目	9項目	5項目
II ひとづくり分野	45項目	23項目	10項目	12項目
III しごとづくり分野	9項目	3項目	3項目	3項目
IV ちいきづくり分野	47項目	27項目	7項目	13項目
V 行政分野	37項目	17項目	10項目	10項目

※各分野の詳しい目標達成状況は、次項「2 各分野の目標達成状況及び成果と課題」を参照

～ 参考 ～ 市民満足度調査の結果（前回調査との比較）

市民満足度がどのように変化したかを明らかにするため、「第6次江南市総合計画における目標達成状況把握のための市民満足度調査」（アンケート）を実施しました。

基本計画掲載指標に関連する47調査項目について、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

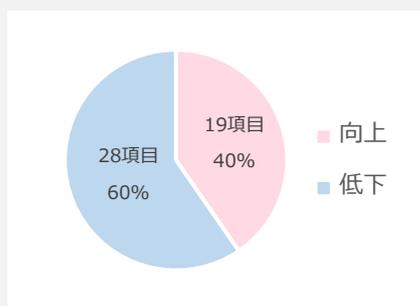
結果は、約4割の項目が前回より向上、約6割の項目が前回より低下の結果となりました。

◆前回調査とは

平成28年4月に実施した市民意向調査と平成29年3月に実施した市民満足度調査をいいます。

◆「満足度」とは

各設問について、5つの設問のうち上位2つ（「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答）を選択した人の割合を満足度としています。



- ・ 4割近くの設問で満足度が「向上」しました。また、このうちの4項目は前回から5ポイント以上の伸びがありました。
- ・ 一方で、「低下」した28項目のうち、7項目は、前回から10ポイント以上大きく落ち込みました。

分野	向上			低下		
	10pt以上	5pt以上 10pt未満	5pt未満	10pt以上	5pt以上 10pt未満	5pt未満
まちづくり分野	1	1	4	1	5	2
ひとづくり分野		1	3		3	2
しごとづくり分野			1			3
ちいきづくり分野		1	4	3		5
行政分野			3	3		1



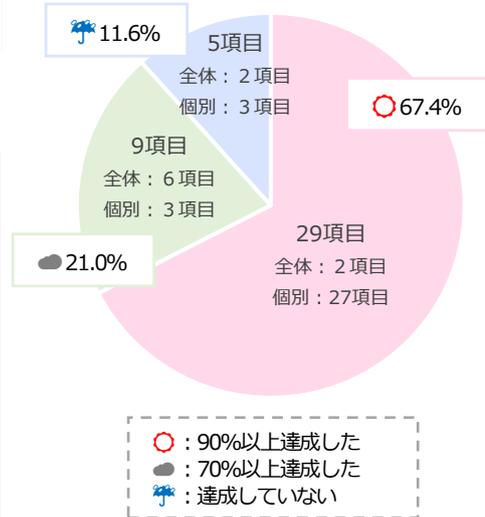
2 各分野の目標達成状況及び成果と課題

I まちづくり分野

《目標達成状況（平均目標達成率）》

全体目標の平均目標達成率	80.5%	●
個別目標の平均目標達成率	98.1%	○

《目標達成状況（達成率別）》



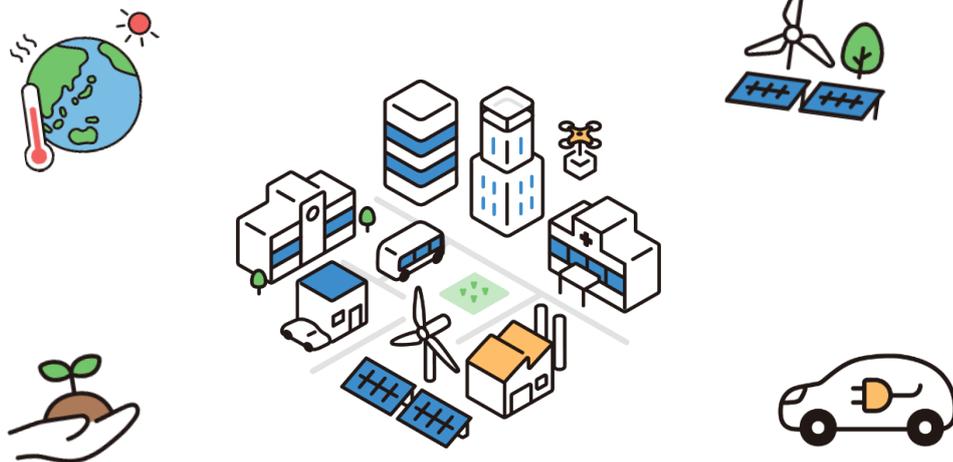
《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 環境保全	75.2%	109.2%
柱2 ごみ減量・処理	82.0%	89.7%
柱3 市街地整備	78.8%	99.6%
柱4 公園緑地	75.4%	100.2%
柱5 道路	71.4%	100.5%
柱6 住環境	69.3%	93.1%
柱7 治水	78.5%	77.9%
柱8 下水道	110.2%	98.5%
柱9 上水道	89.3%	100.8%

《成果と課題》

	成果	課題
柱1	グリーンエネルギー[*]導入の促進 住宅用太陽光発電システムなどの設置費補助金制度を拡充	環境保全活動の促進 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による環境保全活動を行う機会の減少
柱2	ごみ減量・リサイクルの取り組み推進 家庭系・事業系可燃ごみ排出量の抑制 地区懇談会、ボランティア分別指導員 [*] 養成講座、事業所へのチラシ配布などのごみ減量啓発活動を実施 資源ごみリサイクルステーションの増設 令和6年度に布袋駅北側鉄道高架下に新たにリサイクルステーションを開設	衛生的に暮らしていると感じる市民の割合の減少 近年の高齢化の進展や生活スタイルの多様化に伴い、資源ごみが出しづらいつと感じる人の割合が増えている
柱3	居住誘導区域内の面積の維持 都市計画マスタープラン [*] 及び立地適正化計画 [*] に基づき集約型都市構造の推進を図り、居住誘導区域の面積を維持 駅前や市街地が整備され、人々が集いにぎわっていると感じる市民の割合の増加 布袋駅周辺の区画整理事業や鉄道高架化整備事業、周辺道路及び駅前広場などの都市基盤整備により、人々が集いにぎわっていると感じる市民が増加	公共交通の利便性向上 高齢化の進展、免許返納者の増加などに伴う、公共交通に対する市民の要望の多様化と重要度の上昇 江南駅・布袋駅の乗降客数の減少 江南駅・布袋駅の1日当たりの乗降客数の減少 都市計画道路[*]の整備率向上 都市計画道路は計画延長約51kmのうち約3割が未整備
柱4	都市公園面積の増加 最勝寺跡公園（R2）の整備、フラワーパーク江南Ⅱ期地区（R4）開園により、市民1人当たりの都市公園面積が増加	地域で管理されている公園緑地の減少 地域の方々の高齢化などにより、公園緑地の地域による維持管理が困難になってきている

	成果	課題
柱5	<p>道路占用料などの収納率の上昇 適切に督促を行うことにより、道路占用料などの収納率が上昇</p> <p>道路整備の推進 地元からの要望をもとにした道路側溝・舗装などの工事により、側溝整備率、舗装整備率が増加</p>	<p>側溝整備率の目標値未達成 優先度が高いと考えられる側溝の新設に関する地元からの要望が少なかったことにより、若干ではあるが、目標値を下回った</p>
柱6	<p>民間建築物ブロック塀撤去費補助金制度の創設 平成30年度から、地震などによる倒壊の危険性があるブロック塀などの撤去費補助制度を創設</p> <p>危険空き家解体工事費補助金制度の創設 令和元年度から、倒壊などのおそれのある危険な空き家の解体工事費補助制度を創設</p>	<p>木造住宅の耐震診断・改修の推進 木造住宅の耐震改修工事費が高額なため、補助金交付申請件数が伸び悩んでいる</p> <p>地域問題となりえる空家等の抑制 適切な管理が行われていない空家等が、地域住民の生活環境に影響を及ぼしている</p>
柱7	<p>雨水貯留浸透施設※設置費補助金申請数の増加 市民が担う雨水貯留浸透施設の設置に対しての補助金申請累計件数が増加</p>	<p>雨水貯留浸透施設設置費補助金申請数の鈍化 近年、補助金申請件数が、過去の多い年度と比べ2割程度で推移し低迷</p>
柱8	<p>企業会計への移行 下水道事業の経営状況を明確にするため、令和2年度から企業会計へ移行し、中長期的な経営の基本計画となる「江南市下水道事業経営戦略」を策定</p> <p>下水道普及率の向上 下水道計画区域内の整備工事を進め、下水道を使用できる人口が増加</p>	<p>水洗化率の低迷 水洗化率は増加傾向にあるが、類似団体※や全国平均と比較して低迷 また、水洗化率の低迷が下水道使用料の不足の一因となっている</p>
柱9	<p>総収支比率の改善 令和2年度の水道料金の改定により、総収支比率が大きく改善</p> <p>管路耐震適合率の向上 導水管・配水管※の計画的な更新は概ね順調に進行 引き続き管路耐震適合率の向上を図る</p>	<p>有収率の向上 配水量に対する有収水量の割合を示す有収率の向上を図るため、漏水や洗管作業などの水量を抑制することが重要</p>



Ⅱひとづくり分野

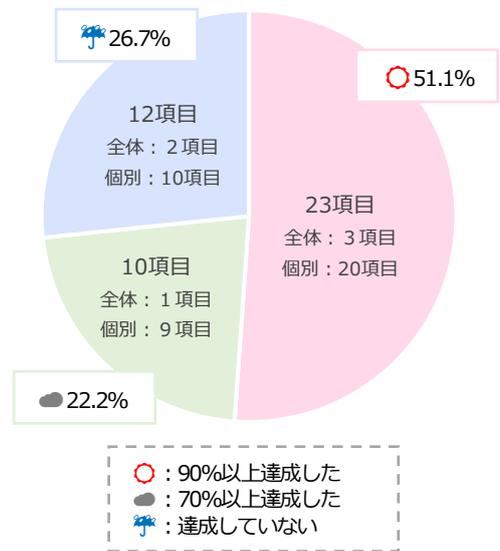
《目標達成状況（平均目標達成率）》

全体目標の平均目標達成率	84.4%	●
個別目標の平均目標達成率	83.8%	●

《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 学校教育	93.3%	98.6%
柱2 教育環境	91.0%	60.7%
柱3 生涯学習	59.0%	79.0%
柱4 文化・交流	98.8%	76.2%
柱5 子育て	82.2%	88.4%

《目標達成状況（達成率別）》



《成果と課題》

	成果	課題
柱1	<p>学校給食における地場産物[*]の割合の向上 安心・安全な給食の提供を図るため、学校給食における地場産物の割合が向上</p> <p>特別支援学級[*]等支援職員の増員 障害のある児童・生徒への支援体制の充実を図るため、特別支援学級等支援職員を増員</p> <p>G I G Aスクール構想[*]の推進 校内LAN環境の整備及び1人1台の学習者用端末を整備</p> <p>学校施設的环境改善を推進 全小中学校の普通教室などにエアコンを設置するとともに、便所の洋式化を完了</p>	<p>学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合の減少 献立作成委員会や物資購入選定委員会を通じた給食の提供を行っているが、残食が目立つ傾向が見受けられる</p> <p>登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合の減少 栄養教諭が中心となり、食育の推進を図るも、朝食を食べている児童・生徒の割合は減少</p> <p>学習者用端末の更新 端末の自動更新ポリシーの期限やバッテリー劣化の問題から、学習者用端末の更新について、多額の費用が必要</p> <p>校舎照明器具の更新 蛍光灯の生産中止問題や環境負荷・維持管理費削減の観点から、校舎照明器具のLED化が必要となるが多額の費用が必要</p>
柱2	<p>校内教育支援センターの設置 令和4年11月から校内教育支援センターを小学校へ順次設置開始 中学校は全校設置済み</p>	<p>不登校の児童・生徒数の割合の増加 不登校の児童・生徒数が年々増加</p>
柱3	<p>生涯学習活動拠点の整備 生涯学習活動の拠点として、令和4年度に古北にじいる会館を整備し、令和5年度に布袋駅東複合公共施設内に新図書館を整備すると同時に、古北にじいる会館の図書・学習室を図書館の分室として整備</p> <p>江南市スポーツセンターの建設 平成30年度に供用開始</p> <p>江南市スポーツ推進計画の策定 令和元年度に策定</p> <p>楽しみん祭の開催 平成30年度より開催</p>	<p>愛知江南短期大学の閉学に伴う生涯学習の機会の減少 愛知江南短期大学の閉学に伴い、これまで愛知江南短期大学が担っていた生涯学習の機会の確保が必要</p> <p>コミュニティ・スポーツ祭のあり方を検討 人口減少によるコミュニティ・スポーツ祭への参加人数の減少 スポーツ推進委員などのなり手不足や運営負担の増加</p>

	成果	課題
柱4	<p>芸術文化活動や国際交流が活発に行われていると 感じる市民の割合の増加 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業への参加者数が減少している中、美術展は継続実施することができた</p>	<p>芸術文化事業への参加者数の減少 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民文化会館の自主文化事業への参加者数が減少</p>
柱5	<p>保育所入所申込者に占める入所児童数の割合の増加 保育所の入所を希望する申込者のうち、入所できた児童数の割合が増加</p> <p>ひとり親家庭への就労教育支援件数の増加 現況届提出時、広報、HP、子育てガイドブックなど、様々な媒体での周知の取り組みにより、就労教育支援件数が増加</p> <p>放課後子ども教室を全小学校区で開室 令和4年6月から全小学校区で事業開始</p>	<p>保育サービスの充実を感じる市民の割合の微増 保育サービスが充実しており、安心して子育てしていると感じる市民の割合が微増</p> <p>家庭児童相談等件数の減少 相談体制の周知不足に加え、コロナ禍による相談者の減少</p> <p>児童館活動参加回数の減少 コロナ禍による児童館利用者の減少 対象児童1人当たりの児童館活動参加回数の減少</p>

Ⅲしごとづくり分野

《目標達成状況（平均目標達成率）》

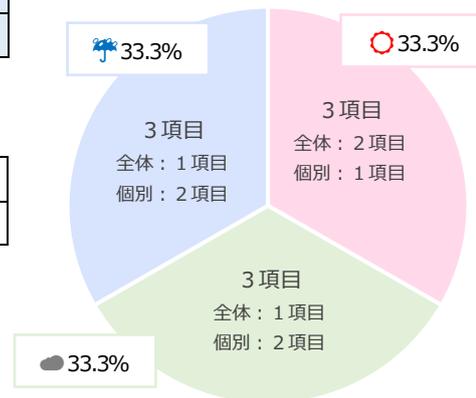
全体目標の平均目標達成率	87.2%	●
個別目標の平均目標達成率	76.3%	●

《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 商工観光・雇用就労	85.3%	59.4%
柱2 農業振興	92.8%	101.7%

○：90%以上達成した
●：70%以上達成した
✖：達成していない

《目標達成状況（達成率別）》



《成果と課題》

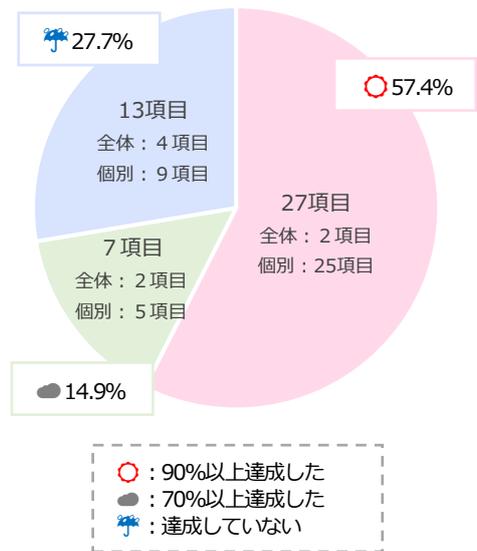
	成果	課題
柱1	<p>企業誘致による新規企業の立地 安良区域への企業誘致の結果、令和5年10月までに6社の立地が決定し、5社が操業を開始</p>	<p>観光客数の減少 新型コロナウイルス感染症の影響により、こうなん藤まつりが中止になるなど、観光客数が大きく減少</p> <p>中小企業振興策の充実 中小企業向けの支援策を新たにスタートさせたが、さらなる中小企業振興策が必要</p>
柱2	<p>農地利用集積面積の増加 農地中間管理機構※などを活用した農地の利用集積の促進により、有効活用される農地面積が増加</p> <p>認定新規就農者の増加 今後の主要な担い手となる認定新規就農者数が増加</p> <p>農業用施設の更新 老朽化が著しい水路などの農業用施設に対する県営事業による改修を推進</p>	<p>耕作放棄地の増加 農業従事者の高齢化、担い手の減少により耕作放棄地が増加</p> <p>未改修農業用施設の早期更新 老朽化が著しい水路などの未改修農業用施設に対する早期の更新が必要</p>

IVちいきづくり分野

《目標達成状況（平均目標達成率）》

全体目標の平均目標達成率	72.8%	●
個別目標の平均目標達成率	94.0%	○

《目標達成状況（達成率別）》



《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 高齢者福祉	112.5%	87.6%
柱2 障害者福祉	48.4%	125.2%
柱3 生活支援・福祉活動	87.0%	78.8%
柱4 健康づくり	46.8%	84.8%
柱5 保険年金	84.9%	97.0%
柱6 防災・交通安全・地域防犯	57.2%	99.0%
柱7 消防・救急	97.5%	89.0%

《成果と課題》

	成果	課題
柱1	<p>携帯型緊急通報装置の導入 ひとり暮らしの高齢者などに対する緊急通報装置※の設置を推進 固定電話を必要としない、携帯型の緊急通報装置を令和4年度から導入</p> <p>介護施設などの整備事業費の補助 介護施設などの整備及び開設時から質の高いサービスを提供するための体制整備、既存の介護施設の改修などを支援</p>	<p>緊急通報装置設置の促進 ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、高齢者の安否確認の件数が増加しているため、今後も緊急通報装置の設置促進が重要</p> <p>地域包括ケアシステムの一層の推進 高齢者が住み慣れた地域で継続して生活ができるよう、介護ニーズの把握と、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備に対する支援が必要</p>
柱2	<p>障害福祉サービス※の提供 以下の障害福祉サービスの利用実績の向上 ・就労継続支援※・就労移行支援サービス※ ・共同生活援助（グループホーム）※ ・通所支援サービス（児童発達支援など）</p>	<p>障害者に対する相談支援体制の充実 障害福祉サービスの提供は増加しているが、相談支援体制が充実していると認知されていないため、周知啓発が必要</p>
柱3	<p>生活保護世帯の高校進学率の維持 担当ケースワーカーが進路についての相談・助言を行うことで、進学率100%を維持</p>	<p>必要ときに地域で支えあう体制が整っていると感じる市民の割合の低迷 生活困窮者などが必要な支援を受けるための相談に至っていないと感じている市民の方の割合の向上を図るための周知啓発が必要</p>
柱4	<p>予防接種（高齢者インフルエンザ）の促進 高齢者のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成することにより予防接種の接種率が増加</p> <p>肺がん検診精密検査受診率の上昇 大腸がん検診精密検査受診率の上昇 精密検査未受診者勧奨を行うことにより、精密検査受診率が上昇</p> <p>乳児家庭全戸訪問の実施率の上昇 子育て世代包括支援センターの設置、妊娠届出時の面談や産後2週間コールの導入などにより、訪問率が上昇</p>	<p>予防接種（高齢者用肺炎球菌）の促進 令和6年度より70歳以上の方の経過措置対応が終了し、その後の対象者65歳の接種率の向上が必要</p> <p>こうなん健康マイレージ優待カード交換者数の増加 こうなん健康マイレージ事業の認知度向上による新規参加者の確保が必要</p> <p>要支援の妊産婦数の増加 予期せぬ妊娠、未婚、若年、経済的不安、母の精神疾患などの理由により、保健医療機関からの連絡件数が増加</p>

	成果	課題
柱5	<p>後発医薬品使用の促進 お知らせにより後発医薬品への切り替えを促し、高い使用率を達成</p>	<p>特定健康診査受診率の伸び悩み 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受診控えが発生し、受診率が目標値に対し大きく乖離</p> <p>後期高齢者健康診査受診率の減少 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受診控えが発生し、受診率が低下</p>
柱6	<p>各家庭の防災意識の向上 総合防災訓練や自主防災訓練などの実施、防災ハンドブックの配布により、市民満足度調査の各家庭の防災意識が向上</p> <p>交通事故発生件数の減少 交通安全啓発キャンペーンの実施や交通安全施設※の整備などにより、交通事故発生件数が減少</p> <p>犯罪発生件数の減少 防犯啓発キャンペーンの実施や防犯灯設置の補助事業の推進により、犯罪発生件数が減少</p>	<p>防災用資機材※助成の申請率の低下 各地区の防災意識に差があり、ここ数年防災用資機材助成を申請していない地区があるため、防災用資機材助成の申請率が低下</p>
柱7	<p>消防団員（水防団員）の定数維持 全国的に減少しているが、処遇改善に取り組むなどして定数を維持</p> <p>救急救命士※運用者数の増員 職員からの養成、資格取得見込み者を新規採用することで対象者を増員</p> <p>防火管理者※の選任率 該当事業所に対する資格取得を促進し、防火管理者の選任率が向上</p> <p>優良危険物施設率の確保 毎年度、すべての危険物施設※について立入検査をすることにより、不備事項を改善させ安全な維持管理を実現</p> <p>防火水槽の計画的な震災対応化 防火水槽の耐震化の目標を令和7年度までに20箇所と設定し、令和5年度までに14箇所を実施</p>	<p>火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合 市民満足度は向上しているものの、目標値には未達</p> <p>住宅用火災警報器の設置率 設置率は向上しているものの、目標値には達せず、さらなる周知啓発が必要</p> <p>耐用年数を過ぎた防火水槽の整備 435基ある防火水槽のうち、50年以上経過しているものが250基あり全体の約57%を占め、今後も老朽化が進むことが見込まれる（令和5年4月1日現在）</p>

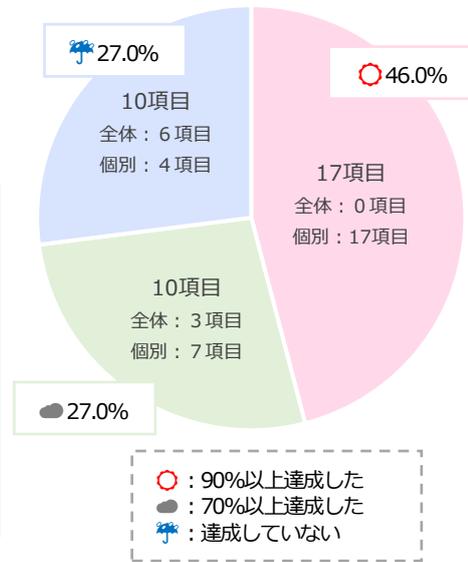


V 行政分野

《目標達成状況（平均目標達成率）》

全体目標の平均目標達成率	57.5%	
個別目標の平均目標達成率	116.3%	

《目標達成状況（達成率別）》



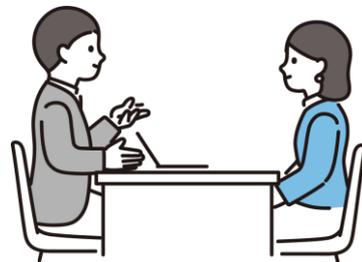
《各柱における平均目標達成率》

	全体目標	個別目標
柱1 市民協働	35.4%	129.9%
柱2 政策・人事	47.3%	117.9%
柱3 市民生活	84.8%	113.5%
柱4 男女共同参画	60.9%	69.6%
柱5 行政経営	47.9%	225.4%
柱6 課税・収納	50.5%	95.9%
柱7 行政事務管理	89.3%	80.8%
柱8 議会運営への支援	54.2%	—

《成果と課題》

	成果	課題
柱1	<p>ホームページのアクセス件数の増加 広報こうなん、市公式LINEなどのSNS*からホームページへの誘導を図ったことで、ホームページのアクセス件数が増加</p> <p>江南市地域交流センターの開館 協働のまちづくりを進めるため、令和5年度に、布袋駅東複合公共施設内に地域交流センターを開館</p>	<p>地域コミュニティの団体数の減少 新型コロナウイルス感染症の影響による活動機会の減少や、会員の高齢化などを背景に、地域コミュニティの団体数が減少</p>
柱2	<p>実効性のある政策推進 政策実施のための財源確保や、市民ニーズに沿った政策を推進 ・スクラップ&ビルド*の実施 ・特別定額給付金給付事業 ・布袋駅東複合公共施設の整備 など</p> <p>働き方改革の推進 ワークライフバランス、女性活躍、SDGsなどをテーマにした職員研修を実施</p>	<p>事業手法の見直し 多様化する市民ニーズに即した事業の展開による、より市民満足度を向上させるための様々な事業手法の検討</p> <p>計画的な人事管理 職員の定年の引上げに伴う、高齢期職員の豊富な知識・経験を活かす、計画的な人事管理の実施</p>
柱3	<p>住民票などのコンビニ交付の開始 令和2年度から全国のコンビニエンスストアなどのマルチコピー機で住民票の写し及び印鑑登録証明書の取得を開始</p> <p>スマート申請サービスの導入 令和4年度から戸籍謄本・抄本、戸籍の附票、独身証明書、身元（身分）証明書をスマートフォンとマイナンバーカードを利用し、オンラインで交付申請できるスマート申請サービスを導入</p>	<p>手続き負担軽減と繁忙期などの窓口の混雑緩和 繁忙期などの、来庁者の長時間の待ち時間が発生した際の、窓口混雑の解消</p>
柱4	<p>審議会などにおける女性委員の登用率の上昇 毎年度庁内各課へ女性委員の積極的な登用を依頼</p> <p>性的少数者の理解促進 性の多様性の観点から性的少数者の理解を深めるセミナーを開催 令和5年度にパートナーシップ制度*を導入</p>	<p>審議会などにおける女性委員の登用率 市審議会について上昇はしているが、県の登用率よりは低く、委員のなり手の確保が必要</p>

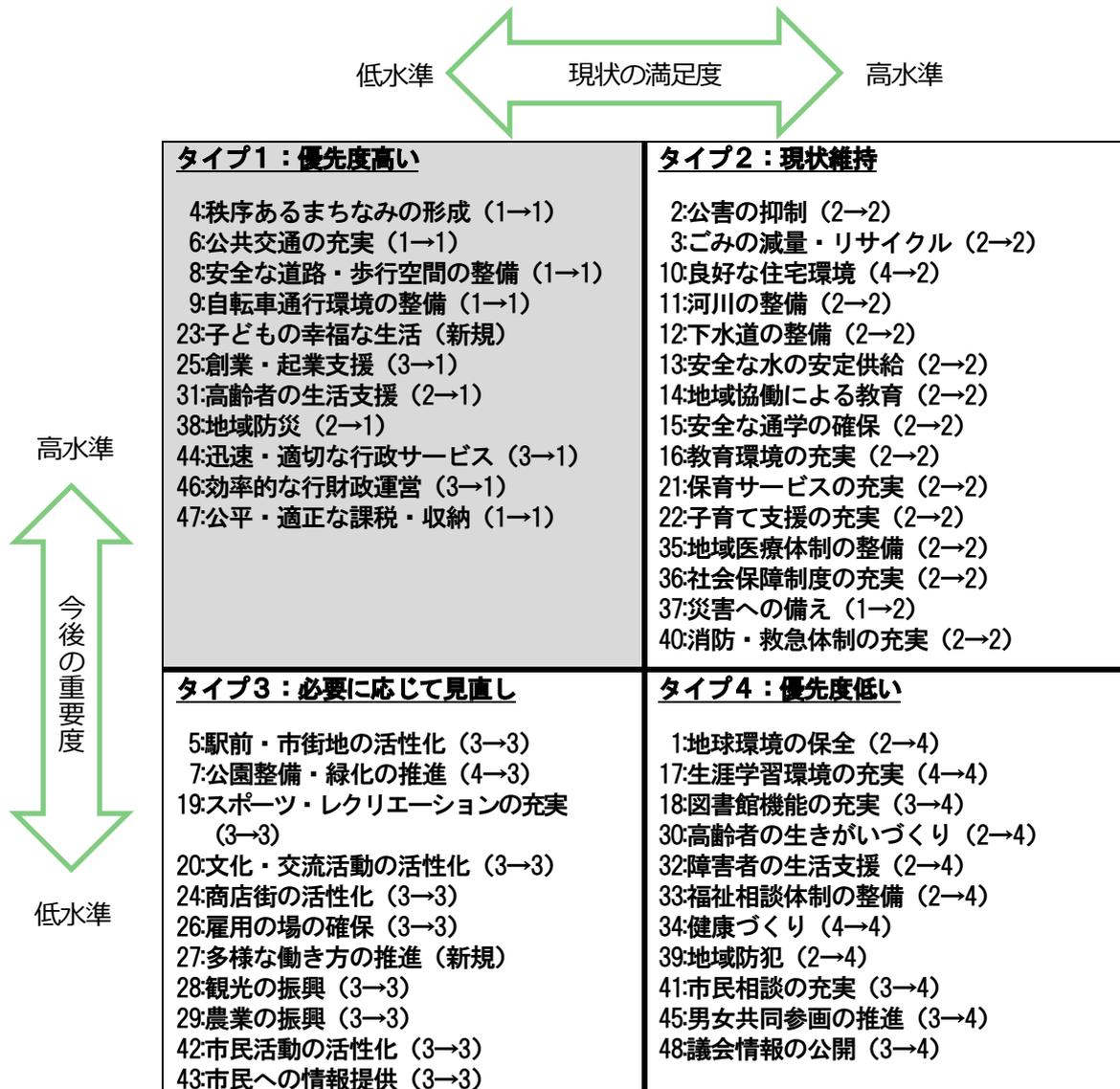
	成果	課題
柱5	<p>公共建築物の更新費用の財源不足額が解消された割合の上昇 施設の配置適正化などにより、財政負担を軽減</p> <p>行政改革の推進 「第八次行政改革大綱」に掲げた50件の取り組みのうち、25件を実施し、行政の簡素化・効率化に対して一定の成果達成</p>	<p>計画的で健全な財政運営 少子高齢化による生産年齢人口の減少などにより、基幹的収入である市税の増加は見込めない中、公共施設などの老朽化への対応や、市民ニーズの多様化により、財政需要の増加が見込まれ、老年人口の増加により、社会保障費[*]が増大</p>
柱6	<p>収納率の向上 滞納処分などの実施により、収納率が向上</p> <p>スマートフォン決済アプリによる納付方法の拡充 令和2年度から市税などの納付にスマートフォン決済を導入</p> <p>課税誤りによる更正・決定の件数の減少 入力誤りや過去の課税処理誤りなどのミスを是正することにより減少</p>	<p>口座振替加入者数の確保 コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリでの納付の増加に伴い、口座振替加入者数が減少</p> <p>公平・適正な課税・収納に対する満足度の低迷 毎年税制改正による制度の複雑化を背景に、公平・適正な課税がされていると感じる市民の割合が低迷</p>
柱7	<p>情報システムの安定稼働 情報システムが停止することなく、安定稼働を確保</p> <p>庁舎施設の老朽化に起因する不具合の予防保全 令和2・3年度に本庁舎空調設備の取替を実施したことにより、庁舎施設の老朽化に起因する不具合を未然に防止</p> <p>歳計現金の有利子運用 歳計現金の運用を行い、利子収入を確保</p> <p>歳入事務関係システムの整備 市の歳入管理に必要なシステムの整備を実施</p>	<p>市長・市議会議員選挙投票率の向上 政治への関心の低下や若者の選挙離れなどから全国的に投票率が減少傾向</p> <p>口座振込で支払う際の手数料の発生 口座振込で支払う際の手数料が有料となることによる費用負担の発生</p>
柱8	<p>議会映像アクセス件数の増加 議会のように広報やホームページなどにより、広く情報発信されたことにより、議会映像アクセス件数が増加</p>	<p>傍聴者数の減少 コロナ禍を背景に、本会議の傍聴者数が減少</p>



● 江南市の取り組みに対する現状の満足度・今後の重要度の分析

「第6次江南市総合計画」策定のために実施した平成28年度の市民意向調査と令和5年度に実施した市民満足度調査について、48の取り組みにおける「満足度」、「重要度」を比較しました。「満足度」は、半数近くの項目で下降した一方、「重要度」については多くの項目が上昇しました。満足度が下降した結果、相対的に重要度が上がったと考えられます。

下図は、各取り組みを満足度・重要度の平均値から4つに分類したものです。



※各取り組み名の末尾のカッコ内の数字について:

([平成28年度調査時タイプ番号] → [令和5年度調査時タイプ番号])



布袋駅東複合公共施設